

番号	氏名	抱負
061	岡田 明男	公益社団法人日本放射線技術学会の目的・事業活動等の遂行状況を把握しながら会員に伝達し具現化していく。また、会員の皆様に共に本会の活動を一層強化して推進していきたいと考えているので代議員に立候補します。
062	小川 正人	現在、九州支部の理事を務めています。九州の代議員が少ないことを危惧しています。地方会員の意見の反映、若い会員のさらなる発展を鑑みて、公益社団法人日本放射線技術学会が学術団体として適正な運営・活動が推進されることを念頭に、微力ながらJSRTの発展に貢献したいと考えます。
063	奥田 保男	本学会に課せられた責務は、放射線技術学に関する研究、知識の交換ならびに関連団体との連携を含めた放射線領域における学術および技術の進歩発展と考えます。また、社会では医療被ばくなど放射線による健康影響が注目されています。そこで、私は医療被ばくや診療・画像情報における広域的な収集と共有と二次利用の研究、および放医研という立場を含め会員の皆様の研究をサポートすることに寄与したいと考えます。
064	小口 宏	本会の国際化と学術団体としての発展のために、関東支部と放射線治療分野に軸足を置きつつ、代議員として学会運営に参加したいと考えている。また、放射線医療技術学に研究分野を置く以上、患者の安全とベネフィットを担保することが大切であり、安全で有効な放射線医療の実施を目指したスタンスでも学会運営の助になりたいと考える。
065	奥村 晃由	現在、関東支部の関東DR研究会の幹事を務めさせていただいております。研究会の幹事を務めさせていただくなか、支部や他の研究会との協調の重要性、また、学会本部との結びつきの重要性を再認識いたしました。微力ではありますが技術学会の発展、支部の活性化、会員の放射線技術向上のために寄与してゆきたい所存であります。
066	奥村 健一郎	本学会の活動は、放射線技術学の進歩に大きく貢献しています。日本におけるDRLも発表され、各モダリティにおける被ばくへの関心がさらに高まってきました。医用画像の分野においても線量と画質の関係は、永遠の課題であり、多くの研究がなされていますが、さらなる発展を期待しています。今回代議員に立候補させていただき、本学会の運営を微力ながらサポートさせていただきたいと考えていますので、よろしく願います。
067	奥村 雅彦	放射線治療を専門とする立場から放射線技術学の発展と若手技術者の育成に関する日本放射線技術学会のあり方、事業に貢献できるメンバーの一員として頑張っていきたいと思っています。よろしく願い致します。
068	小倉 明夫	現在、代表をさせていただいております小倉です。引き続き、本学会のさらなる発展と躍進を期待し、学会運営に協力していきたいと考えております。放射線技術学という世界でもイニシアチブをとる学問体系を、境界領域の学問と融合させながら、更に確立していきたいと考えています。よろしく願います。
069	小倉 圭史	
070	小澤 一夫	この度、代議員に立候補させていただきました小澤一夫と申します。現委員会の役割といたしまして本部では、総務委員会委員として微力ながらお手伝いをさせていただいております。東京支部では理事、企画委員長、学術委員を担当し、また東京事務所の有効活用なども検討させていただいております。今後も日本放射線技術学会のために協力していきたいと考えております。どうぞよろしく願い申し上げます。